





西日本一の菊花大会、西日本菊花大会を主催する、宗像大社菊花会・会長高田太助・会員五十名が、花を愛する豊かな心の育成と、青少年の情操教育の一助となればと、宗像市東郷の中央中学校に、菊の苗七百本を贈呈した。

同菊花会では毎年十一月初旬より下旬まで約一か月間、宗像市域内に於いて、大輪・懸崖・盆栽などの見事な菊の花を展示し、菊作り九州一を決する大会を開催している。

中学校への菊の苗贈呈は地元玄海中学校へは昭和六十一年より、宗像市河東中学校へは平成二年より、今



回贈呈した中央中学校へは平成五年より行っており、本年も中央中学校の休校みに、当大社菊花会事務局並

### 中央中へ七百本

## 宗像大社菊花会菊苗贈呈

夏の行楽シーズンに備えて去る七月一日、玄海町海水浴場の海開き水神祭が、同町観光協会の主催により鐘崎漁協前の波止場で厳行された。

当日は、薄曇りのほつきりとしなやかな海上からの強い風が吹き荒れる中、祭典は執り行われる運びとなった。

定刻午前十一時、当大社神職三名奉仕のもと、和田



に担当巫女が中央中を訪問、学校では担当の先生並に生徒会の代表に巫女より菊苗七百本を手渡した。

贈呈を受けた中央中学校では、「一生懸命育てて、花を咲かせることで、生徒達にものを育てる喜びを知

てほしい」と担当の先生が語っており、夏休み期間中では生徒が交代で登校して水や等花の世話をし、今年の菊花大会へも出品することを目標に、全校生徒で栽培にあたる。

近年では様々なマリネレジャーが盛んになってきて

「脳死を人の死」とするのは臓器移植時のみに限定するとした「臓器移植に関する法律」が、国会を通過・成立し、十月から施行されることとなった。

臓器移植法は、先に衆議院では「脳死は人の死である」との前提に立った法案が通過し、この案が参議院に送付され、審議が続けられた。だが、仮に衆議院で可決した法案をそのまま施行したとすれば、脳死が「臓器移植に関する法律」にまで敷衍されるおそれがある。今回、脳死肯定・否定両派の妥協の産物といへ、脳死を臓器移植に限定する限定の適用に止めたことについて、さまざまな意見があるが、現段階において最も妥当な線に収まったと感じる。

死をどのように理解するかは、人々が有する文化・技術とともに変化してきた。例へば、どのような時点で死が判明するかが、科学的に不明であった時代はどうか。

その例として、適当でないものかも

れないが、古代から続く臓器移植に死への考へが窺われる。心臓停止・呼吸停止・瞳孔拡散などの死の基準が未成立だったため、生命の蘇りを祈りつつ、死の判定を長時間かけておこなひ、肉体のほろんでいく過程を経て「死」の確認をした。臓器移植は決してそれだけではないが、その確信が、部を占めてきたといへるであろう。やがて医学・生命科学の進歩に伴ひ、死としての兆候が見出され、死亡時刻を明確に定めることが可能となった。すなわち、ある時点で区切って、生と死を分けるということ、共通の理解として心臓が基準とされてきた。

ところが、医学の進歩に従ひ「脳幹を含む全脳の機能が不可逆的に停止するに至った」と判定される脳死が、臓器移植技術とともに出現してきた。

脳の機能停止のみによって「死」と

## 臓器移植法成立にあたり

宣告されるには、科学的側面とは別の角度で矛盾を感じる人が多し。臓器移植に関する資料を読むと、心臓が動き、ぬくもりのある身体を保ちながら、人工呼吸器によって呼吸が維持されてある様子が描かれてくる。

心臓死をもって死とするの広い共通理解がある時、「脳死」が拡大解釈され、不必要な範囲、すなわち「臓器移植に無関係の人の死」にまで適用がひろげられようとなる。温かく鼓動のある身体が、死体として取り扱われる。これは理論的には理解出来ても、感情的に理解出来ない人が多いだろう。心臓死をもとに、死亡時刻が明確となった今でも、死後二十四時間以内の埋葬・火葬は、墓地埋葬に関する法律によって禁止されている。これは、まだぬくもりを持つ亡骸に、蘇りを期待しているのかもしれない。

待てる心の現れと理解することが出来る。「眠ってあるやうな顔」などと表現する中にも、やがて起き上がるといふ蘇りを期待する気持ちが現れてくる。このやうなことを考へる時、臓器移植の関係をいかに死に限定して、これまでの概念にふさわしい人の死を認定していくと理解出来る。今回の法律には、この面から理解を示したい。

幅広い分野での検証が望まれる。もちろん、宗教界でもこれまでに活発な議論が繰り返されてきた。今後とも神学・宗教学界で「脳死と生命」などをめぐり、真摯な態度で、それぞれの信仰に基づいた立場での発言が待たれる。

しかし、科学技術の発展は、常に予想を越えた速度で展開していく。また科学技術のみでなく社会問題も、同様である。ある事件が起こると、それに對して我々は懸命に検証し、次の問題についてもう一度同じ努力を要する。だが、それが場当たり的な努力になつてはならない。出現する現象は、一元的・限定的なものではなく、相互に関連を持ちつつ多様な形で我々の前に現れて来る。

事象相互の関連性を見極め、そして今後出て来るであろう問題をも含め、神学・宗教学界としての認識、神学的な考へをもとにして真摯に見据えて、今回の脳死問題に對処していくべきと考へる。

(神学新聞)

## 暑中御見舞申し上げます

### 福岡シティ銀行

### 西日本銀行

日の里支店  
支店長 上杉 政洋  
宗像市日の里一丁目二九一八  
TEL 〇九四〇一三六六六七

赤間支店  
支店長 佐藤 政義  
宗像市大字土穴二〇一一二  
TEL 〇九四〇一三三三三四一

赤間支店  
支店長 西川 治  
宗像市大字土穴三九七一九  
TEL 〇九四〇一三三三五五六五

日の里支店  
支店長 吉良 忠明  
宗像市日の里一丁目三三八一〇  
TEL 〇九四〇一四二二二二三一

福岡支店  
支店長 新留 育郎  
福岡市大字土穴二七三八一〇  
TEL 〇九四〇一四二二二二三一

自由ヶ丘支店  
支店長 江上 孝一  
宗像市自由ヶ丘二丁目七七一  
TEL 〇九四〇一三三三五一五一







宗像大社歌会  
俳句作品集(四二)

福岡 森 清  
電柱に驚く声雨雨に入る

若松 高橋 忠實  
電線に鴉等早苗みおろし

自由ヶ丘 細川 絹子  
紫陽花の雨にぬれていて子

日の里 花田いつ枝  
打ち直す杭十葉の匂ふ中

小笠 山下しずえ  
若よし給料日なりや出掛

藤沢 井上 玄洋  
雨に濡れ砂につくばう月見

東郷 吉武 湧泉  
青風や不安一夜の激震地

東郷 中野 きみ  
燕の巣英彦山がらがら吊り

東郷 吉田 鈴子  
赤生れ父母似と五月晴

東郷 吉田 杏子  
追伸を書いて筆おき湯飲

東郷 三浦美子代  
湧く水は蠟の灯映し泉殿

東郷 有吉里紀子  
病窓に虫をひく初燕

東郷 田中 雨葉  
羽ひらく孔吹かれて青葉

東郷 木原 房子  
六地蔵をませる谷の若葉美

(続)



118

藍島を歩く (一)

粕屋郡新宮町の相島はよく行くが、同じアイノシマでも、北九州市小倉北区の藍島はなかなか行く機会がなかったが、八月に小学校で選物の講演を添田正氏が行われるので、下見に行かせてもらった。



中央の島が不聞の貝島、右の島が姫島。雨台風で、大量の雨は天の慈雨。白風一過でその日は爽やかな晴天だった。こくら丸は約十分ほど。

小倉駅北口側から歩いて十分ほど、浅野に小倉市営渡船場がある。平日は十時出港だが、季節で増減があり、土、日祝でも出港時間に若干差がある。日祝は九時出港。前日は台風八号が北部九州を通過したが、幸い雨台風で、大量の雨は天の慈雨。白風一過でその日は爽やかな晴天だった。こくら丸は約十分ほど。馬島は小六連島とも呼ばれるが、行政区は六連島は山口県下関市である。馬島は小さな島状の島だが、細文・弥生・古墳時代の遺跡があるので古くより人が住んでいたことが分かる。夏は海水浴で賑う。船からは十数人が降りた。皆釣客である。馬島を出港すると前方に藍島が見えてくる。島は細長く全長約一キロ、最大幅六百メートル、周囲約五・四キロ、最高所は二四・四メートルと平坦な島である。ちなみに粕屋郡新宮の相島の面積は一・二五、藍島は〇・六八だから相島の半分ほどである。小倉から馬島によって藍島まで三十分。船から降りてまず島内案内板を見て、島民に聞くと東側は磯伝いに歩けるといふ。まず島の南側「瀬が崎」の方へ行ってみる。北九州側が見える位置である。瀬が崎へ行くには磯伝いは、漂着物で足の踏み場もない、大部分は島からの生ゴミや船からの投棄であろう。瀬が崎は海蝕台と砂浜等があり、狭い砂浜にはボウフウが見られた。福岡市・海の中道や遠賀郡・芦屋浜、岡垣浜にも見られたが、漢方薬に根をさし掘り取られて今ほとんど見られない。荷物を置いて少しは付近を徘徊に歩いてみた。添田氏が見た目の部分に挿入がある青磁片、江戸後期のクワンカ焼片、近代の印刷片を探集。また擦れて曇ってしまった鯨骨片も一片ずつ拾った。島の東側は入江のこざり状に連なっている。南から北へ入江はそれぞれ「海賊」、漁協や藍島小学校のあるところは「大泊」、ここの島の中心部である「長えら」「えびすだ」「大浜」「竹浦」、北の先端は「千畳敷」となり、海蝕台が広がる。ここからは遠くの島や山々が望める。これらの入江には小船がつけられるように、いつの頃のものか、岩が加工されたり、くり抜いた跡もあつた。入江の二ヶ所には、かつて海苔加工場もあつたが、今は廃屋となつて、雑草におおわれて朽ちつた。また入江の最奥部は漂着物や流木が砂に埋もれている。どこも韓国や中国製品の漂着物が見られた。入江は一部砂浜や砂浜、海蝕台状になっている。海蝕台には浸食を受けた波状の岩は千変万化を呈し、それを見て歩くだけでも楽しい。大浜では添田氏が龍泉窯

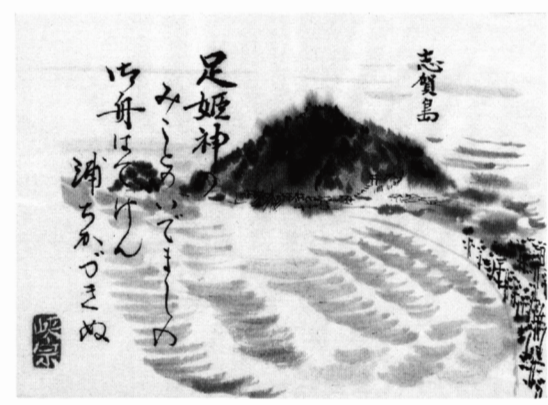


瀬が崎付近の漂着物

青柳種信著 瀛津島防人日記(上巻ノ二)

わたの原嶋のさきさき雲たば、君がおきそ(鳥囀)の風としはむ。よみもはてぬに、船漕出たり。(いにしへの)防人等が、東の国より、はるばると、涙筋をわたりて仕へまふりしと、思ひ出られてあはれにこそ。あはれにこそ。今かり初の旅に、別るといへばかなしかり。此船出する入海のさま、世にこそおもしろき地にしあれば、これの年ごろ東に侍りて、又いつか見るべき

なんごひわたりしに、六とせばかりを経て、けふしも来つれば、いとめづらしと打兄わたすに、入江のくま、いま、いづこもおかしき中に、わきて打兄の浜のありさま、かしき画工の筆にも書つすべからずや。青き海に、いと清なるまきさの、横領巾「コウワ」今織つた布に作つたえり飾の布引はへたらんやうに、今の道三里ばかりつきける。あら、松原の、とほく打けふりたるなんど、目もはるばる也。後九条(衣笠)の内大臣の、山までつづく海の中道とよみ給ひし、この所にや。今は夢の浜となんよぶめり。志賀島近くなりければ、足姫神のみことのり。御舟はてけん、浦ちかづきぬ。とかする内に、西風ふきて、しら波たば、あすこそとて嶋(主賓島)においてやどります。



志賀島 足姫神のみことのり 浦ちかづきぬ

暑中御見舞申し上げます

玄海国定公園の中心…白砂青松の海水浴場…宗像大社からバス5分…神湊旅館組合  
市外局番 (0940)

魚屋旅館	電話 〇九四〇一六二二二番
魚屋別館	電話 〇九四〇一六二二三五番
みなと荘	電話 〇九四〇一六二二三五番
玄海旅館	電話 〇九四〇一六二二〇〇番
高嘉旅館	電話 〇九四〇一六二二二二番
ニュー千鳥荘	電話 〇九四〇一六二二〇六八番
リゾートホテル ユー倶楽部	電話 〇九四〇一六二二六三六番
松風荘	電話 〇九四〇一六二二二二番
泉館	電話 〇九四〇一六二二〇三五番
はま荘	電話 〇九四〇一六二二〇五〇〇番
神湊スカイホテル	電話 〇九四〇一六二二三八〇〇番
玄海ロイヤルホテル	電話 〇九四〇一六二二四二二番